

TKS report vol.20

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

第111期中間報告書

2016年3月1日～2016年8月31日

株式会社 **東京衡機**

TOKYO KOKI CO. LTD.

【東証2部上場（証券コード7719）】



■ トップメッセージ/企業理念



代表取締役会長兼社長
石川 隆一

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第111期上半期（2016年3月1日～2016年8月31日）のわが国経済は、企業収益は緩やかな回復基調で推移したものの、企業の設備投資は、円高の進行に伴い先行不透明感が強まったことなどから持ち直しの動きに足踏みが見られるようになりました。また、雇用・所得環境は改善が続き、消費者マインドには持ち直しの動きが見られました。一方、世界経済は、米国で景気回復の継続が見られ、全体としては緩やかな回復基調で推移したものの、中国では景気は緩やかな減速傾向が見られる中で為替レートも元安円高が進行し、産油国でも原油価格の下落傾向が見られWTI原油価格も低迷するなど先行きについては一部不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、昨年9月1日に実施したグループ内の事業再編の効果をより発揮していくために、営業・サービス体制の充実強化をはじめ事業全般の改善に取り組みました。また、本年8月には、中国展開を推進するため、中国最大の機械工業グループである「国機グループ」の長春機械科学研究院有限公司および中設通用機械進出口有限責任会社と業務提携契約を締結いたしました。

エンジニアリング事業の中核事業である締結具事業では、安定的な収益基盤の拡大に向け事業収益構造の改善を進めており、高速道路や電力関係等のインフラ

施設や公共工事関連施設を対象に販売体制を強化するとともに、生産体制の見直しを継続いたしました。また、同事業のうち民生事業では、住宅防音工事関連ビジネスの収益改善に取り組むとともに、前下半期後半から開始した量販店向け商品の取扱いを拡充いたしました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司において、オフィス家具部品や家電部品等のプラスチック成型品の製造販売の拡大に取り組むとともに、生産体制や品質管理の改善を進めました。また、エンジニアリング事業部門と連携し、グループシナジーを活かしてプラスチック成型品の製造受託を行いました。

当上半期の業績につきましては、売上高は、全事業で前年同期を上回ったものの、中国経済の減速や為替変動による換算レート差を主因に海外事業が伸び悩みなど当初の計画に対しては未達となり、期初予想を若干下回りました。しかしながら、損益面では、試験機事業における製造原価マネジメント強化の施策等により利益率が改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに期初予想を上回りました。今後につきましては、中長期的視点に立って、引き続き内部管理体制の充実強化を図り、各事業の業務改革を進めるとともに、積極的な投資も検討し、事業基盤の安定と拡大を目指す所存であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

contents

トップメッセージ/企業理念	1
決算ハイライト	2
事業内容	3
事業の概況	4
第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)	5
トピックス	7
特集 無錫三和塑料製品有限公司の金山北工場のご紹介	9
株式情報/会社概要/役員等	10

TKS
TOKYO KOKI

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を
尊重する”とともに、やさしさと
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、
地域からも“信頼される
企業市民”であり続けます。

決算ハイライト

第111期第2四半期累計期間 (2016年3月1日～2016年8月31日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	2,657百万円 (前年同期比13.6%)	395百万円 (前年同期比△63.7%)
営業利益	174百万円 (前年同期比-%)	27百万円 (前年同期比-%)
経常利益	155百万円 (前年同期比-%)	22百万円 (前年同期比-%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123百万円 (前年同期比△28.6%)	38百万円 (前年同期比-%)
1株当たり四半期純利益	1円74銭	0円54銭

業績のポイント

- ①試験機事業は、売上高は堅調に推移し、製造原価の改善等により営業利益は前年同期よりも大幅に増加
- ②エンジニアリング事業は、一昨年からの事業構造改革の成果が現れはじめ、売上高・営業利益ともに前年同期よりも改善
- ③海外事業は、中国の景気減速の影響等で当初の計画には届かなかったものの、売上高は前年同期をやや上回り、損益は黒字化を達成

当第2四半期連結累計期間は、試験機事業では、企業の設備投資が比較的堅調に推移したことをうけ、疲労試験機等の材料試験機の拡販や動的試験機の安定的な受注確保、メンテナンスサービスの拡大など継続的かつ積極的な営業活動に取り組むとともに、代理店との連携体制を強化し、幅広く多面的な販売活動を展開した結果、販売面は堅調に推移し、生産面におきましても、生産工程の製造原価マネジメントの改善・強化を継続的に実施するとともに販売管理費の見直しを行った結果、利益率は大幅に改善しました。

エンジニアリング事業の中核事業である締結具事業では、主に高速道路や電力関係等のインフラ施設や公共事業関連施設を対象に主力製品であるハイパーロードナットやゆるみ止めスプリングの販売強化に取り組みました。また、民生事業では、住宅防音工事関連ビジネスのほか、前下半期後半から新たに開始した量販店向け商品の製造販売の規模を拡充いたしました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司において、主に日本や欧米向けにオフィス家具部品や家電部品、自動車部品等のプラスチック成型品の製造販売の拡充および新規取引先の開拓に取り組んだ結果、オフィス家具部品関係は好調に推移したものの、中国の景気減速が影響し中国国内向けの自動車部品関係等は伸び悩みました。また、生産面では、生産管理体制の見直しや製品品質の改善・向上、製造原価マネジメントの強化等に取り組み、コストの低減を推進いたしました。さらに、エンジニアリング事業部門と連携し、グループシナジーを活かしたプラスチック成型品の製造受託も行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

なお、連結業績のうち親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で大きく減少しておりますが、前年同期には子会社であった㈱KHIIに対する金融機関等の債権放棄に係る債務免除益260百万円の計上という特別要因があったためであります。

■ 業績の見通し (2016年10月14日の業績予想公表時点)

第111期 (2016年3月1日～2017年2月28日)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
連結業績	通期	5,200百万円	220百万円	185百万円	120百万円
個別業績 (当社単体)	通期	842百万円	公表値なし	26百万円	53百万円

事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

試験機・計測機器の開発・設計・生産からメンテナンス・校正・受託試験サービスまで高度な技術力によりワンストップソリューションを提供しており、産業界や各種研究機関から広くご愛顧をいただいております。



試験機事業

海外事業

海外事業

中国子会社の樹脂成型技術を活かし、オフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック成型品の製造販売を行っています。



TKS
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge ENRICH SOCIETY

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業

画期的なアイデア独自の技術で開発したゆるみ止めナットとナットの脱落を防止するゆるみ止めスプリングの製造販売(締結具事業)を中心に、一般消費者向けの住宅関連サービス等(民生事業)を行っています。



アジア地域における拠点

MONGOLIA

CHINA

NORTH KOREA

SOUTH KOREA

JAPAN

無錫三和塑料製品有限公司

東京衡機
試験機
豊橋工場

東京衡機
試験機
相模原工場

東京衡機
試験機
サービス

TKS
東京衡機

事業拠点



相模原工場

本店

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
第7東ビル6階



豊橋工場

国内子会社

株式会社東京衡機試験機

- 相模原工場・相模原オフィス
〒252-0151
神奈川県相模原市緑区三井315番地
- 豊橋工場・豊橋オフィス
〒440-0071
愛知県豊橋市北島町字北島202番地

- 東京オフィス
〒101-0032
東京都千代田区岩本町三丁目4番5号 第1東ビル4階
- 大阪オフィス
〒532-0033
大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル2階

株式会社東京衡機試験機サービス

- 本社
〒214-0014
神奈川県川崎市多摩区登戸639番地5

株式会社テークステレコム ※事業休止中

海外子会社

- 無錫三和塑料製品有限公司 (中国江蘇省無錫市)
- 無錫特可思電器製造有限公司 (中国江蘇省無錫市)
- 瀋陽特可思木芸製品有限公司 ※事業休止中

事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランド力の強化、②既存事業の深耕化と関連事業の強化、③海外市場への展開を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

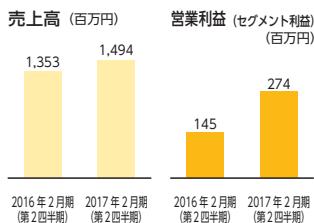
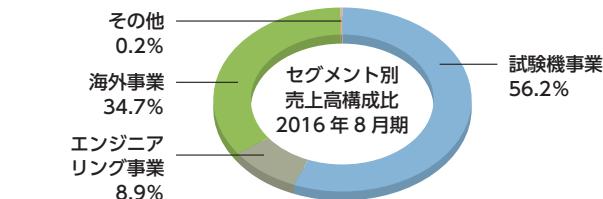
1 試験機事業の
ブランド力の強化2 既存事業の深耕化と
関連事業の強化

3 海外市場への展開

TESTING MACHINE
BUSINESS

試験機事業

売上高 1,494百万円

営業利益
(セグメント利益) 274百万円

当上半期は、標準的疲労試験機の拡販や修理・メンテナンスサービスの安定収益化に向けて継続的な営業活動に取り組むとともに、代理店との連携体制を強化するなど多面的な販売活動を展開した結果、海外向けの大型試験装置の売上計上などもあり、売上高は前年同期をやや上回りました。また、損益につきまして、製造原価マネジメントの改善・強化と販売管理費の見直しに継続的に取り組んだ結果、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。



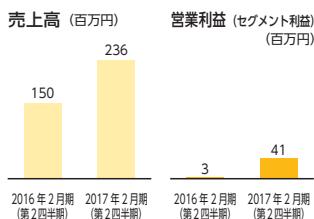
海外向け大型試験装置

Testing Machine Business

Engineering
BUSINESS

エンジニアリング事業

売上高 236百万円

営業利益
(セグメント利益) 41百万円

当上半期は、主に高速道路や電力関係等のインフラ施設や公共事業関連施設を対象にハイパーロードナットやゆるみ止めスプリングの販売強化に取り組むとともに、主要顧客との共同開発による製品を供給するなど安定的な受注・売上の確保に努めました。また、前下半期後半から開始した量販店向け商品の取扱いについて規模の拡大を行いました。その結果、売上高および営業利益ともに前年同期を大幅に上回りました。

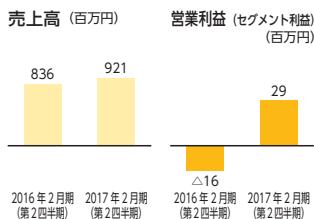


Engineering Business

Overseas
BUSINESS

海外事業

売上高 921百万円

営業利益
(セグメント利益) 29百万円

当上半期は、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心に、中国国内のほか日本や欧米向けにオフィス家具部品や家電部品、自動車部品等のプラスチック成型品の製造販売の拡充に取り組み、オフィス家具部品関係は堅調であったものの、中国の景気減速が影響し自動車部品関係は伸び悩みました。また、生産面では、生産管理体制の見直しや製品品質の改善に取り組みました。その結果、売上高は前年同期並みに止まったものの、営業利益は黒字化いたしました。



Overseas Business

※売上高には、外部顧客への売上高を記載しております。

※△は損失を示しております。

第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

四半期連結貸借対照表

科目	前第2四半期末 2015年8月31日現在	当第2四半期末 2016年8月31日現在
資産の部		
流動資産	3,151	2,796
現金及び預金 1	785	642
受取手形及び売掛金	1,370	1,368
たな卸資産	845	707
繰延税金資産	9	8
その他	168	126
貸倒引当金	△ 29	△ 57
固定資産	1,440	1,376
有形固定資産	1,200	1,120
無形固定資産	128	107
繰延税金資産	23	61
投資その他 2	542	437
貸倒引当金	△ 454	△ 349
資産合計	4,591	4,172
負債の部		
流動負債	1,851	1,733
固定負債	1,042	820
負債合計 3	2,894	2,554
純資産の部		
株主資本 4	1,035	1,100
その他の包括利益累計額 5	662	517
純資産合計	1,697	1,618
負債純資産合計	4,591	4,172

Point1 現金及び預金

長期借入等による資金調達は適宜行っているものの、子会社の特別清算に伴う借入金の前払金などによる資金減少により前第2四半期末に比べ1億43百万円減少しております。

Point2 投資その他

主に破産更生債権等の消滅により、前第2四半期末に比べ1億5百万円減少しております。なお、貸倒引当金は同債権の消滅により前第2四半期末に比べ1億4百万円減少しております。

Point3 負債合計

主に長・短期借入金の弁済により、前第2四半期末に比べ3億40百万円減少しております。

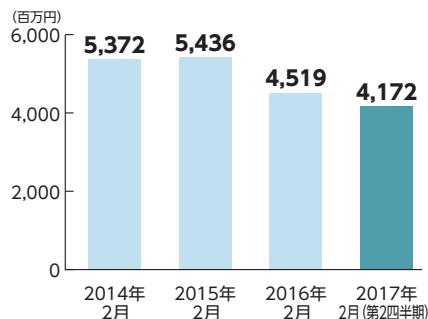
Point4 株主資本

当第2四半期（累計）は1億23百万円の純利益を計上したものの、前期末に中国子会社で事業再編損等の特別損失を計上したことから、前第2四半期末に比べ65百万円の増加にとどまっております。

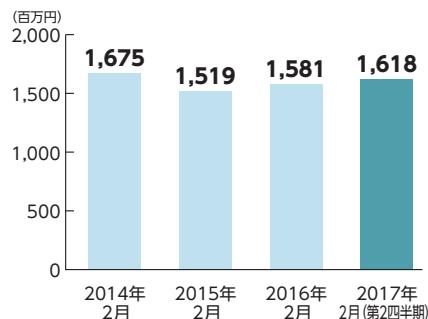
Point5 その他の包括利益累計額

主に中国人民元に係る為替換算調整勘定の減少により、前第2四半期末に比べ1億45百万円減少しております。

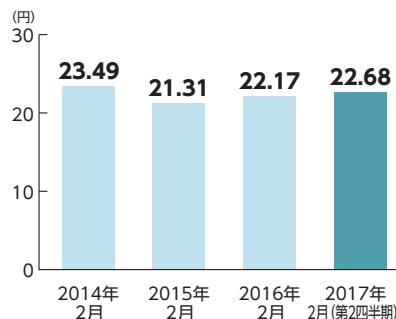
総資産



純資産



1株当たり純資産



四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期 (累計) 2015年3月1日～2015年8月31日	当第2四半期 (累計) 2016年3月1日～2016年8月31日
売上高 6	2,340	2,657
売上原価	1,758	1,872
売上総利益 7	581	785
販売費及び一般管理費	637	610
営業利益又は営業損失 (△) 8	△ 56	174
営業外収益	28	3
営業外費用	24	22
経常利益又は経常損失 (△)	△ 52	155
特別利益 9	260	—
特別損失	1	—
税金等調整前四半期純利益	206	155
法人税等	32	31
四半期純利益	173	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	173	123

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 (累計) 2015年3月1日～2015年8月31日	当第2四半期 (累計) 2016年3月1日～2016年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 43	322
投資活動によるキャッシュ・フロー	103	△ 44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 140	△ 178
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 9
現金及び現金同等物の増加額又は減少額 (△)	△ 78	90
現金及び現金同等物の期首残高	820	508
現金及び現金同等物の四半期末残高	741	598

Point6 売上高

売上高は前第2四半期 (累計) に比べ3億17百万円増加しております。試験機事業は1億41百万円、エンジニアリング事業は86百万円、海外事業は84百万円とすべてのセグメントで増加となっております。なお、売上高の増加については、試験機事業では海外向けの大型試験装置の売上があり、海外事業ではオフィス家具部品関係が好調に推移したことなどが要因となっております。

Point7 売上総利益

売上総利益は、試験機事業における原価改善やエンジニアリング事業の収益構造改革、海外事業の売上増加等により前第2四半期 (累計) に比べ2億3百万円増加いたしました。売上総利益率は4.7ポイント改善し、29.5%となっております。

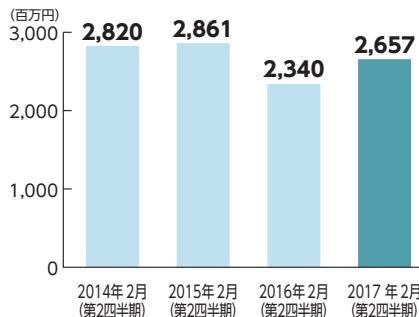
Point8 営業利益又は営業損失

当第2四半期 (累計) は、営業利益174百万円と大きく黒字に転換いたしました。

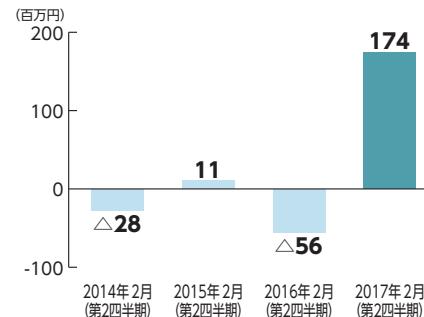
Point9 特別利益

前第2四半期 (累計) は子会社であった(株)KHIの特別清算に伴う債務免除益260百万円を特別利益に計上しております。

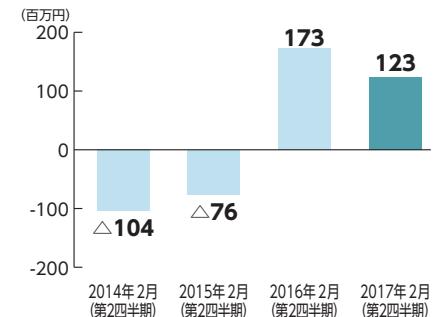
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



※△は損失を示しております。

トピックス

中国における試験機事業の業務提携

当社および子会社の(株)東京衡機試験機は、当社グループの試験機事業の中国展開を推進するため、2016年8月3日に中国最大の機械工業グループである中国機械工業集団（「国機グループ」）の一員である長春機械科学研究院有限公司および中設通用機械進出口有限公司と試験機事業に関し、以下の内容の業務提携契約を締結いたしました。当社グループでは「試験機事業中国提携・開発プロジェクト」を立ち上げており、提携業務の早期開始に向け提携先との連携体制の整備や業務プロセスの構築などに取り組んでおります。

(業務提携の内容)

- ① (株)東京衡機試験機の製品の中国市場での販売
- ② (株)東京衡機試験機の製品に係る部品の中国における調達
- ③ 中国市場における(株)東京衡機試験機の技術ライセンスによる製品販売



日本建築学会における「T-スプリング」の性能の発表

2016年8月24日～26日に福岡大学で開催された2016年度日本建築学会において、同会会員の大成建設(株)様より、「各種緩み止めの性能確認試験 その2 締付けトルクおよび締付け軸力」として、各種緩み止め機構の振動試験結果の比較および「トルク管理」を必要としない特殊ばねの緩み止め効果の高さについて学会発表が行われ、当社製品の緩み止め金具「T-スプリング」(特殊ばね)の性能および信頼性の高い緩み止め効果が紹介されました。「T-スプリング」は、2014年より大成建設(株)様と共同研究・開発を行い、2015年に製品化した製品で、従来製品では繰返し使用ができなかった点を改良し、取付け・取外しを可能にしました。現在では、ベトナムのノイバイ国際空港はじめとして多くの建築物件で使用されております。



「T-スプリング」外観



「T-スプリング」取付け例

「スマートハイパーロードナット」が2016年度 グッドデザイン賞を受賞



ゆるみ止めナットは、公共工事や建築物に多く使用されており、ボルトナットのゆるみを防止することで部材の脱落による事故や振動外力によるナットのゆるみを防止する役割を担っております。

スマートハイパーロードナットは、高性能なゆるみ止め機能に加え、誰でも簡単に取り扱うことができることを目的に開発され、以下の点で従来品より優れております。また、シンプルなデザインを取入れることで、取付け後の外観にも配慮した製品となっており、このたび、内側にスプリング型部品を挿入する工夫で単純な構造でありながら合理的にゆるみ防止の課題を解決するとともに、取り外しにも特別な工具を必要とせず作業者の負荷軽減も同時に満たしているところが高く評価され、2016年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

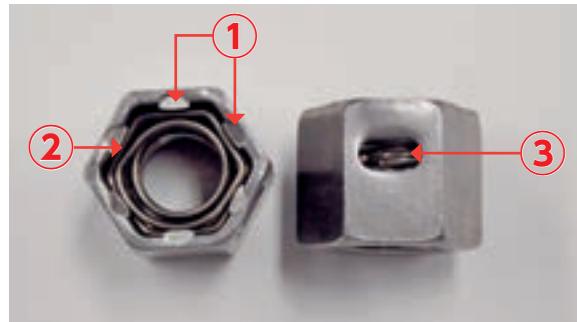


- ① 強いトルクを必要としないゆるみ防止性能
- ② 取付け取外しが簡単
- ③ 部材費と施工費のトータルコストの削減



【施工例】

銀座4丁目交差点に面して新築された『GINZA PLACE』の外装を安全に止め付ける部材として（白いパネルの裏部分）、約75,000個のスマートハイパーロードナットが使用されております。（施主：サッポロ不動産開発株式会社、施工者：大成建設株式会社）



《デザインコンセプト》

- ① 外観を損なわないよう上部6点を均等にプレス
- ② 内蔵されたスプリングは六角形状から丸形状に変化させ、デザイン性とゆるみ止め性能を両立
- ③ ナットの側面からスプリングが飛び出さないシンプルな形状



TKS
report vol.20



—特集—

無錫三和塑料製品有限公司の金山北工場のご紹介

当社グループの海外事業の中核子会社である無錫三和塑料製品有限公司は、2015年8月1日より、従前の工場とは別に、新たに金山北工場（江蘇省無錫市金山四支路所在）の操業を開始いたしました。

同社では、この金山北工場での生産開始に合わせて、お客様からの多種多様なご要望にお応えし、より高い品質の商品群を充実させるため、1,800Ton成型機を導入いたしました。また、2016年4月より、生産体制をさらに強化すべく、新たに1,000Ton成型機も導入し、現在のところ、2台とも順調に稼働しており、お客様からご満足をいただいております。これらの大型成型機は、日本の事務用品・オフィス家具のリーディングカンパニーである「イトーキ」様や世界的なオフィス家具メーカーの「Haworth」様、中国の大手家電メーカー「美的集団 (Midea Group)」様、農業機械メーカーの「クボタ」様などの樹脂成型品を生産・供給させていただいております。さらに、上記以外でも家電部品や自動車部品関係の新規開発も着々と進み、生産能力をさらに向上させるため、1,600Ton成型機も追加することといたしました。

金山北工場には、クリーンルームも併設されており、無錫三和塑料製品有限公司の強みである成型から組立までの一貫生産体制を拡充し、顧客満足度の向上を追求することによりさらなる高みを目指して参ります。



金山北工場外観



1,800Ton 成型機



1,600Ton 成型機



組立ライン



1階入口受付



工場1階全景

株式情報 (2016年8月31日現在)

● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,305名

※上記の発行済株式の総数には、自己株式26,408株を含みます。

● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社アジアゲートホールディングス	27,379千株	38.39%
何積橋	1,960千株	2.74%
オカザキファンド投資事業 有限責任組合	1,940千株	2.72%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
早坂 天	1,029千株	1.44%
前田 喜美子	789千株	1.10%
石井 照義	560千株	0.78%
株式会社SBI証券	557千株	0.78%
仮屋 浩一	460千株	0.64%
池上 道弘	406千株	0.56%

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(26,408株)を控除しております。

● 株式の分布状況



● 事業法人等	30,250千株	42.40%	● 1単元未満	191名	5.78%
● 個人・その他	38,415千株	53.85%	● 1単元以上	1,860名	56.28%
● 金融機関	409千株	0.57%	● 5単元以上	455名	13.77%
● 証券会社	1,875千株	2.63%	● 10単元以上	624名	18.88%
● 外国法人等	361千株	0.51%	● 50単元以上	98名	2.96%
● 自己名義株式	26千株	0.04%	● 100単元以上	77名	2.33%
合計	71,337千株	100%	合計	3,305名	100%

会社概要 (2016年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機
本店所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	18名(連結392名)
事業内容	試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス 住宅関連設備その他一般消費者向け商品の販売、各種サービス

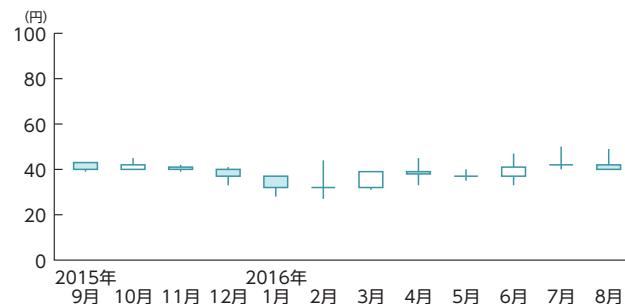
役員等 (2016年8月31日現在)

代表取締役会長兼社長(兼 社長執行役員 グループ経営会議議長)	石川 隆一
取締役(兼 副社長執行役員 中国事業担当)	竹中 洋
取締役(兼 常務執行役員 営業開発部門担当)	平田 真一郎
取締役(社外取締役)	花島 浩
取締役(社外取締役)	神邊 英明
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役(社外監査役)	藤田 泰三
監査役(社外監査役)	田野 春風
監査役(社外監査役)	石渡 隆生

会計監査人

清和監査法人

● 株価の推移



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL http://www.tksnet.co.jp) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



ロゴマークについて

“技術力” “獨創性” “人” “伝統” 全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を「光のイメージ」に展開しています。

青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

赤：東京衡機の獨創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“獨創性”を「赤」で表現しています。

緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**
TOKYO KOKI CO. LTD.

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802



環境に配慮した植物油インキを使用しております